

海ごみゼロへ清掃活動

都市環境エンジニアリング

葛西海浜公園で漂着ごみ回収

産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理などを手掛ける都市環境エンジニアリング(東京・江東、新川研社長、☎03・5639・0740)は7月20日、東京で初のラムサール条約登録地となった葛西海浜公園の西なぎさで漂着ごみの清掃活動を行った。西なぎさの清掃活動は、DEXTEK「西なぎさ」Rへの取り組みをさらに広げるため、里海エイド」が主催で10年前から毎月行っているもの。ラムサール条約は、登録がゴールではなく、いかに都心の希少な干潟を次の世代につなげていくかが大切だ。

同社はこれまでも社会貢献活動の一環として、カンボジアへのリサイクル支援など行ってきたが、今回はCSRへの取り組みをさらに



参加者の皆さん



さまざまな漂着ごみを回収した

に拡げるため清掃活動に参加した。当日は、新川社長をはじめ若手社員や他の企業、ファミリーなど総勢77人が朝から漂着ごみの回収

に汗を流した。この日は梅雨の季節ながら降雨もなく、約1時間半をかけて45袋ごみ袋51袋にプラスチックや可燃ごみなどを

回収した。参加者からは、「思っていた以上にプラスチックごみが多く、ライターや注射針も混じっていてとても驚いた。自分ができる

ることから実践すること自然環境を大事にしていきたい」などの声があがった。

新川社長は、「持続可能な地域社会を目指して、今後も機会あるごとに取り組みを継続したい」としている。